

協同総合 研究所 30周年集会

協同社会のデザインに向けて

協同総合研究所は、2021年3月に設立30周年を迎えます。1991年から今日までの軌跡を振り返り、役割と成果を確認するとともに、労働者協同組合法が制定された今、労働者協同組合、協同労働を未来にどう活かしていくのか、研究と実践の分野を横断して、ともに考え合いたいと思います。2030年、その先の社会を見据え、人間の根源的な営みである協同を基礎に、会員のみなさまとともに、この時代をしなやかにリードしていく所存です。

2021.3.13 Sat

13:30 - 17:30

オンライン開催 / 参加無料

Contents

1. 古村理事長記念対談

Guest

藤原辰史さん

ふじはら たつし

1976年北海道旭川市生まれ、島根県横田町（現・奥出雲町）出身。京都大学人文科学研究所准教授。専門は農業史。



2. 記念企画 会員セッション

Theme

協同社会のデザインに向けて

労働者協同組合法とコロナ禍からのアプローチ
1年間の研究テーマを会員のみなさまと議論します。

Application

お申込みは、3月10日（水）まで。

QRコードからお申込みください。

メールや電話でも受付けております。



T: 03-6907-8033

F: 03-6907-8034

E-mail: kyodoken@roukyou.gr.jp



労協法制定の一方で、人類は今、気候危機に代表される時代の分岐点に立たされています。協同を経営的に研究する私たちは、これからの1年間、「協同社会のデザインに向けて～労働者協同組合法とコロナ禍からのアプローチ～」という大テーマのもと、労働、公共・民主主義、経済、学び・育ちなどの多角的な視点から協同による未来社会を展望する研究活動に取り組む考えです。